

記

1. このような機関の任務は、科学技術行政に関する基本的な企画立案、総合調整に止めるべきこと。
2. 原子力に関する行政はその性格上からみて、他の科学技術行政から切り離すべきこと。

3-18

庶発第681号 昭和30年11月2日

内閣総理大臣 鳩山一郎 殿

日本学術会議会長 茅 誠 司

日本におけるロシア研究について（要望）

日本学術会議は、下記の見地から、政府が日本におけるロシア研究を盛んにするため、適当な処置（たとえば、大学における講座の新増設、研究所の拡充、その他）をとられるよう、ここに本会議第20回総会の議により要望します。

記

ロシアならびにソ連の文化が世界文化の中でしめる重要さについては、くわしく述べるまでもない。ところが従来わが国では、英、米、独、仏、中国などの文化の研究に比して、ロシアならびにソ連の研究は、はるかに立ちおくれている。

このことは、わが国の学術と文化の将来にとつて、大きな欠陥をもたらすおそれがある。

3-19

庶発第682号 昭和30年11月2日

内閣総理大臣 鳩山一郎 殿

日本学術会議会長 茅 誠 司

大学・研究所等における外国人研究者の受入れ制度について（要望）

日本学術会議は、さきその第15回総会の議により、「外国からの留学生を招くための奨学基金の設定について」（昭和28年11月2日付庶発第559号）を勧告し、その一部は既に実現されていますが、最近の事態はさらに一步を進めて、大学・研究所等において海外から研究者を招き、相当期間研究に従事することができる制度を設けることが、学術の交流特にわが国の学術の海外への紹介に資するために必要であると考えますので、政府においてこのことについて適当な処置を考えられるよう、ここに本会議第20回総会の議により要望します。

3-20

庶発第683号 昭和30年11月4日

内閣総理大臣 鳩山一郎 殿

日本学術会議会長 茅 誠 司

分析化学中央機関の設置について（要望）

化学における機器測定ならびに化学分析は化学、物理等の基礎をなす科学であるばかりでなく、医学、薬学、工学、農学等の応用科学の各分野にわたつて、きわめて重要な役割をしています。さら